

活動プログラム	No.03 ネイチャービンゴ		
期待される効果	 		
プログラム概要	ビンゴカードを用いることで意欲的に自然を観察するきっかけとなります。また見るだけでなく、匂いや音、触感なども、ビンゴの項目に取り入れることで、自然を五感で感じることができます。		
対象	どなたでも	人数	何人でも
時期	通年	場所	自然の家周辺
金額	教材申込書を参照	大人の人数	15人に1人

準備物	団体ごと	救急セット
	服装 個人装備	長袖、長ズボン、帽子、水筒、タオル、軍手 カップ（上下セパレート）、リュック、筆記用具
美方高原で レンタル可能な物		ビンゴカード（有料）、バインダー、虫めがね、クマ鈴、小型無線機 長靴

活動のタイムスケジュール（例）

時間	運営	安全上のポイント
9:00	玄関前集合 服装、持ち物確認	十分な水分を持っているか 肌の露出の少ない服装か
9:10	説明、注意事項	エリアの確認と活動時
9:15	グループごとに出発	施設外に通ずる道に関しては事前にスタッフを配置する。
	指導者は巡回	
11:00	施設に戻り始める	集合の際、子どもとの行き違いに注意して スタッフは持ち場を離れる。
11:30	集合 ふりかえり	人数確認
11:50	終了	

補足ポイント

- ビンゴカードは施設で販売しているものもありますが、目的に沿ったカードを作成して使用することもできます。また自分たちでカードを作成して実施することもできます。
- カードの内容によって時間の調整が可能なプログラムです。（1時間～）
- グループごとでの活動が適したプログラムです。
- 施設外に出る道には、スタッフを配置する必要があります。

活動 プログラム	No.03	ネイチャービンゴ
-------------	-------	----------

予期されるリスク	リスクに対する対応
道迷いや遭難	地図の配布や分岐点などにスタッフを配置する。無線機や個人の携帯電話なども使うと、指導者間の連携がしやすい。
散策道の状態	散策道に通行に危険な箇所はないか、倒木や落石の恐れがある場所があれば、事前に処理もしくは、ルートの変更をする。
くまや野生動物との遭遇	クマ鈴を装備させ、単独での行動をさせない。職員はクマよけスプレーを携帯しておく。
熱中症、脱水症状	塩分や十分な水分を準備するよう伝える。服装も調節を促し、日陰での休憩をとらせる。肌を露出させず、日焼け止めの使用を促す。
ハチ、ヘビとの遭遇	ハチやヘビとの遭遇した場合の対応を伝えておく。また散策道以外の山中には入らせない。散策道の付近のハチの巣の駆除。
天候不良	当日の天候や予測を確認し、著しく悪化する場合はプログラムの時間変更、もしくは中止する。
その他のケガ、体調不良	救急バックを携帯し、応急手当の準備をする。事前の体調調査、当日の確認を行い、バックアップ体制を整えておく。

事前点検・準備事項
散策コースは安全に通行できる状態か。
施設周辺の案内や地図は最新の状態のものを使用しているか。
天候の情報を確認して、適切な対応をしたか。
参加者の年齢、人数、スタッフ数、体調面などの情報は入っているか。
運営方法やタイムスケジュールは明確で共有されているか。
施設準備物は使用可能な状態か。または数は揃っているか。
参加者もしくは団体への持ち物の伝達は行ったか。

活動時のインストラクション（必須事項）
地図と案内をよく確認し、遭難に十分気をつけること。道ではないところには進まないこと。
必ずグループで行動すること。（クマとの遭遇を避け、遭難を防ぐため）
塩分、水分補給、を行い、こまめに休憩をとること。
衣服での体温調節を行うこと。
ハチ、ヘビと遭遇した場合は、刺激せず距離をとること。
有事の際は、グループ内で分かれ、最後に会ったスタッフを呼びに行くこと。必ず1人にならないこと。
30分以上他のグループやスタッフに会うことがなければ、その場から動かず、スタッフを待つこと。
足場を確認しながら進み、捻挫などに気をつけること。特に下りは十分に気をつけ、走らないこと。